

九月八日午前十一時鑲瀨ヲ築シ中津道加若木ヲ  
 経テ多武除ニ至ル此處ニテ一分隊ヲ疎ク川向岸  
 海路ニ分チ兩岸共ニ行進シテ上郡ニ至ル賊ノ  
 一屯アリ四五名一家ニ在テ休息ス我搜兵進テ  
 咫尺ニ至ルヲ知ラス尚樓ニテ賊兵ニ迫ル因テ狼狽  
 シテ銃器須要品ヲ捨テ遁逃ス進テ伊高瀬道  
 フ又壘ヲ空ラシテ遁ル此時賊兵川向岸和岡口ニ  
 壘ヨリ甚シク火撃ス因テ川ヲ横テ戦フ一壘既  
 破クト雖モ尚退カス遂ニ黄昏ニ至ルヲ以テ午後七時

上郡ニ引揚ケ直ニ哨兵ヲ配布シ善營ス事見此  
傷又ハ分捕品尤之通

一等卒

先

庄千五百

軍曹

傷

甚西熊藏

一等卒

佐米仁右衛門

黒田丑治

二等卒

一衣服

一刃

一羽  
一乱

一エ  
一シ  
一ロ  
一ル  
一鏡

分捕品

三

本

三

個

三

挺

齋藤篤治

原権吉五郎

内口喜四郎

内馬伊治郎

五月九日全隊一甲隊ヲ四區ニ分ク一ツ上郡ノ哨線正  
 メヲ先鋒トナシテ山上ヨリ丘四セシメ一ツ本隊トナシ  
 部署定ムテ午前四時上郡ヲ発シ麓瀨ニ進軍  
 ス先鋒兵ハ麓瀨壘ニ對シテ戦ヒ山上ノ兵賊ノ丘  
 四兵ヲ頂上ニ追ヒ本隊ハ本道ヨリ先鋒兵ニ合シテ  
 戦フ山上ノ丘四兵寡少ナルヲ以テ上郡ノ哨兵ヲ  
 引揚援隊トナシテ賊ノ丘四兵ヲ支フ然ルニ本軍ノ  
 戦争ヲ展望スルニ漸次退却スルヲ見ル因テ全隊  
 ヲ伊高瀨ニ引揚ク賊壘ノ丸死哨線ヲ台領  
 ス然リト雖モ我兵寡少ニシテ哨兵ヲ配布スル能

ハス不得止ニテ午右四時上葦ニ引揚ル日傷者  
並ニ分捕品尤之通

一尋卒

長岡政吉

分捕品

一彈藥

五箱

九月十日午前五時全隊斷シニ區ニ分テ上ノ部  
 線ニ止メ退線ノ警備ヲ為シテ本道ヨリ藤瀬ニ  
 向テ進メ所メホ以テニ分レテニ區ト為シテ先鋒  
 トシテ本隊トナス藤瀬ノ賊軍對戰數時不  
 定然ルニ山腹濃霧中ヨリ我背右ニ射撃ス地形  
 甚タ不利ナルヲ以テ伊高瀬ニ引揚ケ此處ニ於テ  
 防戦ス所メ之ヨリ一分隊ヲ山上ニ進メ迂回ノ賊  
 ヲ支フ午後五時上ノ部ニ引揚シ以日傷者  
 尤之通

少尉名簿孝記

二等奉

小笠原由招

村岳寅吉

渡邊新助

也 右五月八日ヨリ十日ニテ戦闘ノ報告受美

弟中隊長代理

明治十年五月十二日

陸軍中尉林親季(林)

別働隊密着園弟西隊隊長

陸軍大尉野邊俊平殿

0160

